

## 【南区】令和 2 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和 2 年 2 月 5 日（水） 午前 10 時～11 時
場 所	南区役所 6 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】 渋谷健議員</p> <p>【議 員：3 名】 遊佐大輔議員、仁田昌寿議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：26 名】 松山弘子区長、富井孝副区長、 北川寛直福祉保健センター長、 永木宏一郎福祉保健センター担当部長、 水谷俊之土木事務所長、小出健消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	令和 2 年度 個性ある区づくり推進費 南区予算案について
発言の旨	<p>【荒木議員】 コロナウイルスの件については、後で聞きたいと思います。 まず、4 ページの感震ブレーカーの補助ですが、補助対象額が 1,600 円で、10 分の 9 まで補助するとなっていますが、感震ブレーカーにもグレードがあると思います。どのくらいのレベルの感震ブレーカーへの補助なのか教えてもらえますか。</p> <p>【野坂総務課長】 感震ブレーカーの補助事業は、総務局の危機管理室が行っている補助事業への上乗せです。危機管理室の補助対象は、簡易型のブレーカーと聞いております。</p> <p>【荒木議員】 危機管理室も個人の申込を可能にするということですが、実際にスタートするのは、9 月ぐらいになるのでしょうか。せっかく件数が 400 件とありますから、是非周知徹底し、利用を広げてもらえるとありがたいと思います。 また、(6)の災害医療体制強化事業は、予算額が減っているのはなぜですか。</p> <p>【永峯福祉保健課長】 訓練に使う物品の在庫がございまして、それを活用するというところで、若干減となっております。</p> <p>【荒木議員】 また、去年は台風で、内水氾濫のおそれに対し、避難場所を急遽増設するなど、臨機応変に対応していただいたことはありがたかったし、特に台風 19 号のときには、土木事務所の人も含めて、相当数の職員が待機して</p>

発 言 の 旨  
要

いただいたことに、本当に感謝申し上げます。それで、私もあとで気付いたのですが、避難場所を拡充したという情報を発信してもらったのですが、メール、スマートフォンだと一番最後までスクロールしないと、その情報が出てきませんでした。受け手としては、まずトップを見るので、避難場所を変えたのであれば、トップに書いて分かりやすくすべきだと思います。発信の仕方の工夫をお願いします。

それから、総務局も検討し始めているようですが、内水氾濫の避難場所には備蓄がほとんどないので、備蓄品の配備について、区としても検討しているのでしょうか。

【野坂総務課長】

情報発信の件につきましては、メールなどいろいろな情報ツールを使ってお知らせすることを考えています。当然、ホームページ等にも掲載させていただいています。それから、内水氾濫・浸水被害の避難場所については、基本的には一時的な避難場所ということなので、地震の地域防災拠点のように食料を提供するという考えはございません。ただし、浸水想定区域内にある避難場所では備蓄品が濡れる恐れがあることへの対応など危機管理室の会議等で議論していますので、物品庫をどうするのかなどは、そういった議論を通し進んでいくと思っています。

【荒木議員】

想定すべき様々な対応が今後も出てくると思うので、区の予算だけでは対応できないのは当然わかるのですが、避難場所に避難する人は、危険だということを承知して来るので、食料などを自分で持って来ることは難しいと思います。だから、最低限、飲料水だけはあったほうがいいと思うので、検討していただければと思います。南区は水道局の中村ウォータープラザもあるので、連携してできることを検討してもらえればと思います。

9ページの多文化共生事業ですが、南区には南吉田小学校と、隣の中区になりますけど横浜吉田中学校があり、外国につながるお子さんたちが増えているということで、国際局とも連携しながら事業を進めていると思います。(2)のボランティア初心者向けの研修会の内容と規模を教えてくださいませんか。

【小田川学校連携・こども担当課長】

この研修に関しましては、基本的に新規のボランティアさんを対象に考えております。令和元年度の実績ですと、22名の方が新たにボランティアに参加いただいております。もともと外国にお住まいの方だったり、外国の方ですので、日本の学校とはどういうものかですとか、ボランティアをするにあたっての個人情報の取扱などについて、研修をしたいと考えております。

【荒木議員】

英語、中国語、特に中国語は、地域によって言語が違うということもあって、ボランティアさんを集めるのも大変だと思いますが、定着をさせていただきたいと思います。それから、学校からお聞きしたのですが、通訳が必要になる時間帯は千差万別で、保護者の方の対応をする時が一番苦勞

発 言 の 旨

するとのこと。ボランティアさんを確保することも厳しいと聞いているので、教育委員会とも連携しないと難しいとは思いますが、是非対応の工夫をお願いしたいと思います。

次に 10 ページの健やか元気応援事業ですが、特定健診の受診率の向上など、いろいろ取り組んでいただいていると思います。私も国民健康保険なので、様々な通知が届いており、工夫していただいているのはありがたいです。そのような中、現在区へのコロナウイルスについての問い合わせは、増えているのでしょうか。

【永峯福祉保健課長】

コロナウイルスについてのご相談は、1月末から本日まで毎日来ております。件数については、1月27日から2月4日までの合計で、39件の相談が来ております。

【荒木議員】

テレビがセンセーショナルに取り上げているコロナウイルスの影に隠れてしまって、インフルエンザが同時に増えていることは忘れられているので、そこをしっかりと伝えないといけないと思います。今もここで議員の皆さんとも話していましたが、クルーズ船の着岸について、本庁のほうには問い合わせがたくさん来ていると思うので、手洗い・うがいを徹底することとか、ご家庭でできることについて発信しないといけないと思います。特に、幼稚園・保育園のほうも大変だと思いますが、どのように対応されているのでしょうか。

【小田川学校連携・こども担当課長】

幼稚園・保育園でございますが、こども家庭支援課には、コロナウイルスの関係で、認可保育所 10 園から相談がございました。春節などで中国に帰省している在園児が帰国した場合にどうすればいいのかなどの問い合わせにつきましては、国などからの通知をご覧いただき、対応させていただきます。もし具体的な相談がある場合には、健康づくり係などに繋ぐようにしております。

【荒木議員】

保護者が園に相談に行くというケースのほうが多いかもしれないので、園長先生たちや保育士さんたちが適切に対応をしないと、クレームになりかねないので、現場は大変だと思います。健康福祉局が、国からの通知を保護者に配るような対応になっているのでしょうか。

【小田川学校連携・こども担当課長】

健康福祉局では、啓発ちらしを作成していますので、今月の保育施設長会議で、私どもから情報提供をさせていただきたいと思っております。

【荒木議員】

事前にそういう通知を出してあげることが、保護者にとっては一番安心すると思います。職場は大変かも知れませんが、小学校・中学校も同じ対応をすると思うので、周知徹底をお願いします。

発言の  
要旨

最後に、21 ページの地域で守ろう私の安全安心事業について、幼稚園・保育園のお子さんたちの交通安全の問題で、土木事務所が警察と協力して現場点検をしていただいています。マンパワーでは園児たちを守り切れないというのがはっきりしたのと同時に、土木事務所や道路局から危険箇所についての報告が上がっていますが、南区では、土木事務所ですどのくらい対応するのでしょうか。

【大橋土木事務所副所長】

調査について、全部直さなければいけないような箇所は約 70 箇所あり、今後対応していきます。今年度につきましては、Y 高前の交差点部分の安全対策を実施する予定になっております。

【荒木議員】

70 箇所の対応はいつまでに終わるのでしょうか。

【大橋土木事務所副所長】

それについては、道路局と国で、予算確保に奔走しており、いつまでかははっきりとしない状況です。

【荒木議員】

現状では 70 箇所もあるということですので、一刻も早く完了してほしいです。幼稚園・保育園側からすると、園児を散歩に出さないということができないので、神経を使いながら安全を確保していると思います。南区では、地域の方たちの見守りなどの協力もあると思いますが、事故が起きないことを心から願っています。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

【仁田議員】

今回も新規事業を含めて、限られた財源の中で、様々に知恵を出したということが随所に伺え、そのご努力に敬意を表したいと思います。ただ、少しわからないこともあるので、確認の意味も含めて伺えればと思います。

最初に、4 ページのみなみ減災推進事業です。ここでは自助と共助をしっかりと分けて、自助を強調されていることは、大変大事なことだと日ごろから思っています。子育て世代を対象にした親子向けの啓発冊子は、どのようなルートや規模で配布をされるのでしょうか。

【野坂総務課長】

区が発行している防災冊子は、比較的大人向けや中学生以上向けのものが多いのですが、若年層への啓発ということを考えますと、特に他区では、赤ちゃん教室に通われている方に冊子を出しているという例があり、好評だということでしたので、南区としても、そういうものを作って、赤ちゃん学級を通して啓発していこうと考えております。

発 言 の  
要 旨

【仁田議員】

わかりました。いわゆる母子保健に関わる層が対象ということですね。学齢期までを対象にするのは少し違うと理解すればよろしいですか。

【野坂総務課長】

厳密に年代ごとの区別はないのですが、まずは、赤ちゃん学級にいらっしゃる方にこの冊子をお渡しをしたいと思います。先生がおっしゃったように、学齢期向けはどうかということですが、現在、小・中学生は、沢渡公園の防災センターへバスで行き、防災の話を聞いて帰って来てもらっていて、そのバス費用については、区づくり推進費で対応しております。

【仁田議員】

次に、地域防災拠点運営強化事業ですが、資機材取扱研修について、いわゆる防災ライセンスとの住み分けはどうなっているのでしょうか。

【野坂総務課長】

各地域防災拠点の運営委員さんの中には、防災ライセンスをお持ちの方もいらっしゃいますが、資機材の取扱について、毎年研修をしないと使えなくなってしまうこともありますし、資機材が新しくなるので、使い方を紹介するという意味で、研修を行っています。

【仁田議員】

次に6ページの区民スポーツ参加促進事業ですが、新規事業として、コミュニティライブサイトとあります。これをそのまま読むとホームページ上のサイトというように感じてしまいましたが、「オリンピック種目の放映と競技体験や展示等を一緒に行う」とあります。そのイメージがよくわからないので、もう少し具体的に教えていただけますでしょうか。

【姫浦地域振興課長】

コミュニティライブサイトは、市民局でも横浜市でも同じ言葉の使い方をしますが、競技中継、いわゆる「パブリックビューイング」に加えて、会場装飾やステージイベント、競技体験、場合によっては飲食売店を出すようなものを「コミュニティライブサイト」と言うように使い分けをしております。

【仁田議員】

パブリックビューイングの体験版というイメージでしょうか。

【姫浦地域振興課長】

パブリックビューイングにいろいろな他のことをプラスして行うということです。例えば、昨年ラグビーワールドカップの時には、ただパブリックビューイングを行った場合と、みなとみらい地区等でパブリックビューイングに加えていろいろなことを行った「ファンゾーン」がありましたが、そのファンゾーンをイメージしていただければと思います。

<p>発 言 の 要 旨</p>	<p><b>【仁田議員】</b>  わかりました。次に 10 ページの健やか元気応援事業の(3)自殺対策事業では、職員の皆さんがゲートキーパーになるということは、いわゆる入口の多層化というか多重化という意味で、とても大事な取組だと注目しています。このように取り組んでいる他の自治体も視察をしましたが、このゲートキーパーカードの配付は、どのような趣旨なのか教えていただきたい。ここには、職員の意識向上に繋げるためのゲートキーパーカードとありますが、これは研修修了証のような位置付けなのでしょうか。</p>
	<p><b>【永峯福祉保健課長】</b>  自殺対策についてお褒めいただき、ありがとうございます。職員向けの研修は、平成 28 年度から行っており、毎年 100 人ぐらいの職員が研修を受けてきました。ゲートキーパーカードですが、自殺を考えている方と、いつ、どんな時に窓口や相談相手としてお会いするかも知れないということで、職員の心構えや案内窓口が書かれたものと考えております。また、大きさは職員証程度を考えており、もし、職員がそういう方に出会った場合に適切な対応が取れるように進めてまいりたいと考えております。</p>
	<p><b>【仁田議員】</b>  わかりました。是非効果あるものになっていただければと期待を申し上げます。  続いて 11 ページの地域福祉保健計画ですが、増減理由に業務を委託するためとありますが、この策定をどこに委託すると理解すればよろしいでしょうか。</p>
	<p><b>【永峯福祉保健課長】</b>  計画策定の原案や素案を作っていますので、一緒にやってくれるコンサルティング会社に委託をしたいと考えております。また、計画ができましたら、皆様に冊子で周知をすることから、そのデザインも併せてできるところを考えております。</p>
	<p><b>【仁田議員】</b>  次に 13 ページの認知症早期対応・見守り支援事業の中で、権利擁護に関しては、制度的に裁判所も絡む話にもなり、思い至る方にとって、ハードルが高くてなかなか難しいことだと思いますが、普及啓発を目的とした講演会は大事だと思います。この講演会に行こうというハードルも少し高いと思いますが、呼びかけ等に工夫はあるのでしょうか。</p>
	<p><b>【小栗高齢・障害支援課長】</b>  この講演会は、区役所と区内の地域包括支援センターとで開催する予定であり、地域包括支援センターとともに区内の交通機関や関係事業所、関係機関のほうにも周知を行い、できるだけ多くの方の手に届くように工夫をしてみたいと考えています。</p>
<p>発 言 の 要 旨</p>	<p><b>【仁田議員】</b>  わかりました。なかなか難しいことだと思いますので、よろしくお願</p>

したいと思います。

次に 14 ページのすこやか子育て支援事業の児童虐待予防事業ですが、子どもの居場所マップの配布と記載されています。子ども食堂などの例示がありますが、子どもの居場所の定義とはどのようなものでしょうか。

**【戸矢崎こども家庭支援課長】**

昨年度、今年と、子どもの居場所マップを作成し、各小学校の生徒に配布しております。南区の子どもの居場所という考えとしましては、子ども食堂だけではなく、学習支援や青少年の交流を行っている場所などであり、南区の近接も含めて、マップには 20 箇所程度掲載しています。今年度もマップの更新作業を進めており、新年度に配布することとしています。

**【仁田議員】**

わかりました。従前のものに新たに増えた所などを更新して、配布するという理解でよろしいですか。

**【戸矢崎こども家庭支援課長】**

はい。

**【仁田議員】**

21 ページの地域で守ろう私の安全安心事業の(4)防犯啓発活動ですが、南警察署長さんが特殊詐欺対策について「敗北続き」とおっしゃるぐらい極めて難しい問題だと思います。「引き続き強化するために、キャンペーン、防犯教室、地域紙を活用」と書かれていますが、何かこれまででない取組や効果的なチャレンジを考えているのでしょうか。

**【姫浦地域振興課長】**

これまでは、被害に遭われている高齢者の方を対象に行っていましたが、2年度は、高齢者の方を親に持つ世代に対しても啓発するほか、老人クラブや交通安全のシルバーリーダーなど、高齢者の方が集まる場で、啓発の輪を広げて周知してまいりたいと思っています。

**【仁田議員】**

警察との連携の中で、色々と知恵を出していくことしかないのだろうと思いますが、大胆に様々なことを考えていかないと難しいと思います。私の地元でも案を出したら、警察に止められたということがありましたが、確かに色々な課題が出るからだろうと思います。結果として、なぜそうなるのかというぐらい不思議な事案が、本当にあるものだと実感しています。是非、できるだけ範囲を広げて、工夫した取組をお願いしたいと要望しておきたいと思います。以上です。

\*\*\*\*\*

**【遊佐議員】**

オリンピックの関係について、お聞きします。昨年の本会議で質問した

発言の  
要旨

際、教育長から「区ときちんと協議していきます」という答弁がありました  
たが、その後の進展はいかがでしょうか。

**【姫浦地域振興課長】**

教育委員会とは、その後も引き続き協議しております。来年度はオリ  
ンピック・パラリンピックの開催年になりますので、南区内の小学校の教育  
研究会が主催する大会で表彰するなどして、多くの子どもたちが記憶に残  
る体験ができるように、引き続き協議してまいりたいと思っています。

**【遊佐議員】**

これから予算の議会が始まるので、参考までに教えていただきたいの  
ですが、区長と教育長とはお話はされましたか。

**【松山区長】**

しっかりした会議の場ではございませんが、市会本会議での遊佐議員か  
らのご質問のあとに、教育長とは若干意見交換をいたしまして、「しっか  
り話し合っ、必要がありましたら何なりとおっしゃってください」とい  
うような応援の言葉をいただきました。実務的には、地域振興課長が答え  
ましたように、区内の小学校が参加する既存の競技大会があるよう  
ですので、その中で表彰するようなことができないか、協議検討している  
ところでございます。

**【遊佐議員】**

オリンピックは、文化芸術の祭典でもありますので、今回、ボイスオブ  
ユースでは、作文のテーマにオリンピック・パラリンピックを取り上げる  
ことも入っています。自分の学校だけにとどまらず、他の学校との交流を  
きちんと図ってもらいたいというのが趣旨なので、是非進めていただきた  
いと思います。

6ページの南まつりですが、開催が1日になると聞いたのですが、それ  
は間違いないでしょうか。これについて発表はありましたか。

**【姫浦地域振興課長】**

議員の先生方からも色々と暑さ対策のお話をいただいている中で、開催  
日数を現在の2日を1日とする方向で検討しております。

**【遊佐議員】**

それは決定なのでしょうか。地域の方からもそのように聞いたので  
すが、もう間違いはないですか。

**【姫浦地域振興課長】**

正式には4月以降に南区民まつり運営委員会がありますので、そこで正  
式に決定することになります。

**【遊佐議員】**

変えるとなると色々と大変だと思いますが、この暑さとコロナウイルス  
もどうなるかわかりませんので、是非皆さんとよく話し合っただけ

発言の  
要 旨

ばと思います。また、この間の予算研究会の中で、文化観光局と経済局の両方から、001グッズをもう少し色々な所で売りたいという話があったので、南区のこのようなお祭りなどで、001グッズのブースが1個ぐらいあってもいいのかなと思っています。他の商店と被らないようにするなどの配慮は必要でしょうが、文化観光局は「何か要請があれば001グッズを売りに行きますよ」みたいな話をしていました。なぜ、今までやっていなかったのでしょうか。

**【姫浦地域振興課長】**

なぜ今までやっていなかったかは存じ上げないのですが、001グッズを販売する方法としては、新たにブースを設ける方法と、既存のブースで販売する方法があると思いますが、どちらも可能だと思っています。いずれにしても、南まつり実行委員会と調整していくことになると思っています。

**【遊佐議員】**

はい。是非、議題に出してもらえればと思います。

次に、鶴見区や港北区では、段ボールと紙のごみを資源集団回収できないという問題が発生しています。南区ではまだそういったことはないのですが、「うちの地域はどうなるのか」といった声は現場の中で上がっているのでしょうか。

**【須賀資源化推進担当課長】**

南区の中でも、4自治会の回収事業者が3月いっぱい手を引きたいという話がありましたが、その事業者に代わる事業者は、ほぼ確定をしております。他に手を引くという事業者は見当たりませんが、こういうご時勢ですので、出てこないとも限りませんので、注視しているところです。

**【遊佐議員】**

今日の明日という話ではないと思いますが、アンテナを張っておいていただければと思います。

また、レジ袋が7月から有料化になり、横浜市でも指定袋の検討がスタートします。どのような形でやるのかは、これからの議論なのでしょうが、これからメディアなどで取り上げられると、「どうなっていくの」といった問い合わせもあると思いますので、そちらについて丁寧に対応していただきたいなと思っています。

次に、この間報道もありました根岸の米軍住宅の跡地の関係ですが、南区の関心事としては、当然、市大センター病院なのかなと思います。区役所として何かをやっていくというような方向性があるのか、あるのかないのかも含めて教えてください。

**【黒田区政推進課長】**

先生にご指摘いただきました市大センター病院については、私どもとしましても非常に注視していくべきと考えております。報道の内容を振り返りますと、市大医学部及び附属2病院の再編整備の検討について、現地建替えとともに、第三の土地での整備の可能性という中で、根岸住宅地区が

一つの候補として挙がっているということです。場所がどこになるとしても、1病院に集約して再編した場合、現在の2病院の跡地については、地域に必要な医療ニーズあるいは福祉ニーズに合わせて、その機能を残していくという考え方で臨みたいと政策局から聞いております。私どもとしても、引き続き検討状況を注視するとともに、これからは地域の皆様に対しても丁寧にご説明してもらう必要があると思っておりますので、そういった中で区民のご希望をお伝えして、調整していきたいと考えています。

**【遊佐議員】**

よろしく申し上げます。

\*\*\*\*\*

**【仁田議員】**

今、課長からお話が合った跡地の件に関連して確認させてください。検討委員会の中でも、現状を維持しながら、そのままその土地で建替えるというのはなかなか難しいので、どこか違う場所に建設するという趣旨が示されています。どこか違う場所に建設するのなら、跡地をどうするのかという考えが自然に出てくることだと思うのですが、かつてあのエリアは、医療・福祉ゾーンとしてゾーニングされていました。今もその考えというのが基本的にはあると思うのですが、その考え方は、どのように位置づけられているのか、それともノーエリアとしているのかを確認しておきたいと思えます。

**【黒田区政推進課長】**

まちづくりのゾーンとしての考え方を、今の段階で変える、変えないということは、まだ私どものほうでは把握していませんが、基本的には、地域のニーズをきちんと考えていくと聞いておりますので、今後区役所として、ともに協議に入っていきたいと考えております。

\*\*\*\*\*

**【渋谷議員】**

9ページの多文化共生事業ですが、南区には色々な言語を使う方が多いと思いますが、多言語の事業を見ると、英語と中国語に偏っていて、それにタガログ語、ハングルが若干加わっているように思われます。数字ではなくイメージでいいのですが、英語と中国語だけで、どのくらいの外国人の方を網羅しているのでしょうか。

**【黒田区政推進課長】**

まず、最新の南区の外国人人口の比率について、昨年12月末現在で、区民の方のうち約1万1千人の外国籍の方がいらっしゃいますが、その約半数が中国語圏です。また、英語となりますと、どこまでを英語圏として捉えるかですが、端的にアメリカの方は1%程度です。私どもが、在留資格なども含めてどのような方がお住まいなのかを分析する中では、例えば留学生のビザを持って来ている方や、あるいは企業にお勤めの方などで

と、英語でもかなりフォローアップが可能かと思っております。現在、区役所1階の総合窓口案内では、英語と中国語のボランティアさんにお越しいただいて、日々対応しておりますが、言語的に不自由だというケースは、ほとんどございません。ただ稀に、最近急増しておりますベトナムやネパールの方などで、両言語では対応が難しいケースでは、国際局から貸与されているタブレットを使ったテレビ通訳を利用し、英語、中国語以外の通訳さんに画面に出ていただくことも可能になっていますので、そちらを含めて対応しております。

**【渋谷議員】**

そうすると、英語、中国語にプラスして、ハングル、タガログ語ぐらいで、かなり網羅できるというイメージでいいのでしょうか。

**【黒田区政推進課長】**

例えば、お子さんの健診の詳細情報などについては、必要に応じて、先生にご指摘いただいたような言語でもリーフレット等を作っていますが、窓口等での対応においては、今ご紹介したような枠組で、ほぼ対応ができているという理解しております。

**【渋谷議員】**

区役所の窓口でのタブレットは、国際局から貸与されているというお話ですが、最近のスマートフォンの無料ソフトでも、何十か国の言語が翻訳できてしまうものがありますが、特に利用していないのですか。

**【黒田区政推進課長】**

来年度予算では、国際局で試行として、商品名を言うようで恐縮ですが、例えばポケトークなどといった翻訳機を1区1台用意しようと予算化していると聞いています。私どもも実際に試行している現場を拝見していますが、AIという技術を使って、色々な外国語でのお問い合わせに対して、それに応じた日本語を訳した内容を表示したものをお見せしたり、聞いていただいたりするものです。この日常のやりとりの中で、AIがどんどん言語を学習していくのですが、行政サービスなどで用いる用語、あるいは外国籍の方の生活文化と照らして日本のわからないところも多岐にわたるということもありまして、どこまでこの翻訳機のAIで対応できるか見極めが難しいところがありますので、まずは18区それぞれで使ってみて、その可能性を検討していこうということだと聞いています。

**【渋谷議員】**

おっしゃるとおり、生活していく中での大部分なことは、スマートフォンの中に入っている多言語翻訳ソフトで、ほぼ対応できちゃうと思うし、試行をしながら検討していただきたいと思います。人の手で通訳をする時代から、AIに任せる時代になってきているのかも知れないので、そこは幅広く対応を考えていただければと思います。私からは以上です。